

神経伝導検査と筋電図を学ぶ人のために [DVD-ROM 付] 第2版

木村 淳, 幸原 伸夫 ● 著

東海大教授・リハビリテーション科学 正門由久



この度、医学書院から『神経伝導検査と筋電図を学ぶ人のために 第2版』が出版された。初版も読ませていただき、素晴らしい本であると感じていたが、さらにバージョンアップし、“かゆいところに手が届く”必携の書になったと感じる。本書は臨床神経生理学的検査、特に神経伝導検査と筋電図検査を行う者にとっては、まさに座右の書といえる。

さて、本書の構成は、神経伝導検査の正常値(見ていて飽きない)、序章(偉人たちに感謝)、「第1部 神経筋の構造と機能」、「第2部 神経伝導検査の原理と実際」、「第3部 針筋電図の原理と実際」、「第4部 症例から学ぶ筋電図」、「第5部 知っておきたい基礎知識」、「第6部 AAEM(米国電気診断医学会)用語集」の計6部から構成されている。さらに各部の終わりには知識を整理するためのQ&Aや、要所要所に「Column」というトピックス枠があり、日常診療の場で起きそうな疑問や話題に答えてくれており、本文にはない“楽しみ”がある。また各章

末に○×式の確認問題があり、そこで復習できるようになっている。

本書は、神経生理学に必須の“波形”を豊富に掲載しているのみならず、模式図を使用し、なぜそうなるのかをわかりやすく解説している。それによって理解がさらに深まる。また第2版で新たに設けられた「第4部 症例から学ぶ筋電図」は大変興味深い。症例を通してわれわれが学ぶことは大きいことがわかる。

本書の最大の特長は、その教材としてDVD-ROMが付録として付いていることではないだろうか。これまで、針筋電図検査ではオシロスコープ上に現れる波形や音がどれだけ神経生理学で重要であるかを理解していても、それを実際に学ぶとなると非常に困難であった。しかしながら、付録のDVD-ROM収載の筋電図波形を繰り返し見て聞き、本書を読むことによって、実際に針筋電図検査を行っているような臨場感が得られる。またDVD-ROMには著者(幸原先生)の講演も収載されている。これが珍しく、興味深い。こ

のような著者の講演そのものが収められた本は今までなかったのではないだろうか。これによって、よりわかりやすい本になっており、もはや“付録”の範疇を超えているといえる。

本書は臨床神経生理学の極めて完成度の高い教科書であり、わが国においてこのような書が出され、さらに進化を遂げたことはたいへん喜ばしい。本書を“楽しい”と感じるのは評者だけではないだろう。ページをめくるたびに楽しみが増すという不思議な本。ぜひ神経生理を日常行っている医師や検査技師に読んでいただきたい。また神経生理をこれから学ぶ方々にとっても素晴らしい本となるのは間違いない。木村先生、幸原先生に感謝申し上げたい。

B 5, 440 頁, 2010 年

定価 9,450 円 (本体 9,000 円 + 税 5%)

[ISBN978-4-260-00895-2]

医学書院刊